



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月9日

上場会社名 大日本塗料株式会社

上場取引所 東

コード番号 4611 URL <http://www.dnt.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 岩浅 壽二郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員管理本部長

(氏名) 瀬古 宜範

TEL 06-6466-6661

四半期報告書提出予定日 平成29年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	54,413	△4.8	4,825	12.8	4,828	14.1	3,206	14.1
28年3月期第3四半期	57,133	6.3	4,277	39.4	4,230	36.0	2,809	38.7

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 2,999百万円 (21.2%) 28年3月期第3四半期 2,473百万円 (△17.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	21.94	21.85
28年3月期第3四半期	19.00	18.97

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第3四半期	68,879	32,766	44.7	211.79
28年3月期	67,732	30,620	42.3	194.88

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 30,815百万円 28年3月期 28,647百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	—	—	3.50	3.50
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	4.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	74,500	△2.5	6,600	12.7	6,500	16.9	4,100	13.4	27.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期3Q	148,553,393 株	28年3月期	148,553,393 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

29年3月期3Q	3,052,620 株	28年3月期	1,551,674 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期3Q	146,186,522 株	28年3月期3Q	147,864,298 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府、日銀による経済・金融政策により緩やかな回復基調が続いているものの、中国をはじめとする新興国経済の減速懸念や中東・欧州における地政学的リスクを背景に、為替相場や株式市場の不安定さが高まり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの連結業績につきましては、国内塗料事業は、市況の回復が鈍く減収となりましたが、高付加価値品の拡販等により増益となりました。海外塗料事業は、現地通貨ベースでは増収となりましたが、円高による為替換算の影響により減収となりました。利益面では高付加価値品の拡販が奏功し、増益となりました。照明機器事業は、蛍光灯関連器具の出荷が減少しましたが、製品の収益性が改善し、減収増益となりました。このほか、当社グループでは生産体制の適正化を図っており、拠点の統合に伴う費用を特別損失として計上しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は544億1千3百万円（前年同四半期比 4.8%減）、営業利益は48億2千5百万円（同 5億4千7百万円増）、経常利益は48億2千8百万円（同 5億9千7百万円増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は32億6百万円（同 3億9千7百万円増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

〔国内塗料事業〕

主力の構造物分野では、拡販品目の出荷は順調ながら、市況の回復は鈍く、低調に推移しました。建材分野では、新設住宅着工戸数の回復を受け出荷が増加しましたが、他の工業塗料分野における需要の低迷をカバーするまでには至らず、当セグメント全体としては減収となりました。一方で、高付加価値品の拡販や原材料価格の低下により、増益となりました。

この結果、売上高は403億2千6百万円（前年同四半期比 4.0%減）、セグメント利益は29億8千3百万円（同 9千4百万円増）となりました。

〔海外塗料事業〕

北中米及び東南アジア市場において自動車部品用塗料の販売が大きく伸長したことで、中国における販売の伸び悩みを補い、現地通貨ベースでは増収となりました。また、高付加価値品の拡販が奏功し、増益となりました。一方で、円高による為替換算の影響を受け、円貨ベースの業績は押し下げられました。

この結果、売上高は52億1千2百万円（前年同四半期比 6.9%減）、セグメント利益は9億円（同 4億4千3百万円増）となりました。

〔照明機器事業〕

重点市場である業務用LED照明器具の需要は堅調に推移しましたが、蛍光灯関連器具の出荷減少を補うまでには至らず、減収となりました。利益面では製品の収益性改善が進み、増益となりました。

この結果、売上高は65億1百万円（前年同四半期比 4.9%減）、セグメント利益は6億7百万円（同 1億2千9百万円増）となりました。

〔蛍光色材事業〕

安全対策用塗料が好調に推移したほか、鉄道車輛用カラー帯が新型車輛に採用されたことで増収となりました。一方で、円高による為替換算の影響もあり、減益となりました。

この結果、売上高は10億3千8百万円（前年同四半期比 2.4%増）、セグメント利益は9千9百万円（同 1千万円減）となりました。

〔その他事業〕

売上高は13億3千4百万円（前年同四半期比 20.8%減）、セグメント利益は1億円（同 6千5百万円減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は688億7千9百万円となり、前連結会計年度末と比較して11億4千7百万円の増加となりました。流動資産は326億5百万円で前連結会計年度末と比較して8億2千6百万円の増加となりましたが、これは現金及び預金の増加7億4千9百万円、受取手形及び売掛金の増加6億2千2百万円、たな卸資産の減少2億5千8百万円、繰延税金資産の減少2億5千8百万円が主因であります。固定資産は362億7千4百万円で前連結会計年度末と比較して3億2千1百万円の増加となりましたが、これは有形固定資産の減少6億7千7百万円、無形固定資産の増加9千8百万円、投資その他の資産の増加9億円が主因であります。

負債は361億1千2百万円となり、前連結会計年度末と比較して9億9千9百万円の減少となりました。流動負債は307億5百万円で前連結会計年度末と比較して10億1百万円の増加となりましたが、これは支払手形及び買掛金の増加6億7千5百万円、短期借入金の増加7億6千8百万円、製品補償引当金の減少1億5百万円、その他流動負債の減少2億7千4百万円が主因であります。固定負債は54億7百万円で前連結会計年度末と比較して20億円の減少となりましたが、これは長期借入金の減少24億6千4百万円、繰延税金負債の増加3億2千8百万円、退職給付に係る負債の増加1億1千3百万円が主因であります。

純資産は327億6千6百万円で前連結会計年度末と比較して21億4千6百万円の増加となりました。これは利益剰余金の増加26億9千2百万円、自己株式の増加2億9千万円、その他有価証券評価差額金の増加4億2千8百万円、為替換算調整勘定の減少6億5千万円が主因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点では、平成28年11月10日発表の通期連結業績予想を変更しておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

（持分法適用の範囲の重要な変更）

第1四半期連結会計期間において、当社が保有するセトウチ化工株式会社の株式を全て売却したことに伴い、同社を持分法適用の範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,125	3,875
受取手形及び売掛金	17,489	18,111
商品及び製品	5,642	5,460
仕掛品	717	662
原材料及び貯蔵品	3,002	2,981
繰延税金資産	809	550
その他	1,116	1,022
貸倒引当金	△124	△58
流動資産合計	31,779	32,605
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	19,815	19,740
減価償却累計額	△13,214	△13,491
建物及び構築物 (純額)	6,601	6,248
機械装置及び運搬具	21,384	21,270
減価償却累計額	△18,076	△18,225
機械装置及び運搬具 (純額)	3,307	3,044
土地	11,885	11,815
リース資産	1,286	1,286
減価償却累計額	△489	△569
リース資産 (純額)	797	717
建設仮勘定	33	61
その他	5,364	5,493
減価償却累計額	△4,359	△4,428
その他 (純額)	1,004	1,064
有形固定資産合計	23,629	22,952
無形固定資産		
のれん	3	—
リース資産	319	331
その他	430	519
無形固定資産合計	753	851
投資その他の資産		
投資有価証券	6,070	6,356
繰延税金資産	1,782	1,829
退職給付に係る資産	2,937	3,571
その他	855	792
貸倒引当金	△75	△79
投資その他の資産合計	11,570	12,470
固定資産合計	35,953	36,274
資産合計	67,732	68,879

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,251	16,926
短期借入金	7,291	8,060
リース債務	267	290
未払法人税等	629	574
役員賞与引当金	27	—
製品補償引当金	233	127
環境対策引当金	14	13
その他	4,987	4,712
流動負債合計	29,704	30,705
固定負債		
長期借入金	2,676	212
リース債務	885	863
繰延税金負債	1,252	1,580
再評価に係る繰延税金負債	1,303	1,303
退職給付に係る負債	1,154	1,268
環境対策引当金	58	106
その他	76	72
固定負債合計	7,408	5,407
負債合計	37,112	36,112
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,827	8,827
資本剰余金	2,452	2,452
利益剰余金	12,362	15,054
自己株式	△260	△550
株主資本合計	23,382	25,784
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,868	2,297
土地再評価差額金	1,882	1,882
為替換算調整勘定	90	△559
退職給付に係る調整累計額	1,423	1,411
その他の包括利益累計額合計	5,265	5,031
新株予約権	55	93
非支配株主持分	1,917	1,857
純資産合計	30,620	32,766
負債純資産合計	67,732	68,879

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	57,133	54,413
売上原価	40,875	37,559
売上総利益	16,257	16,853
販売費及び一般管理費	11,979	12,028
営業利益	4,277	4,825
営業外収益		
受取利息	3	4
受取配当金	129	133
その他	237	206
営業外収益合計	370	344
営業外費用		
支払利息	154	92
環境対策費	—	69
その他	263	179
営業外費用合計	417	341
経常利益	4,230	4,828
特別利益		
固定資産売却益	276	4
投資有価証券売却益	8	168
受取保険金	164	—
その他	18	—
特別利益合計	467	172
特別損失		
固定資産処分損	83	43
事業構造改善費用	93	143
災害による損失	128	—
その他	43	39
特別損失合計	348	227
税金等調整前四半期純利益	4,350	4,773
法人税、住民税及び事業税	723	1,011
法人税等調整額	725	341
法人税等合計	1,449	1,353
四半期純利益	2,901	3,420
非支配株主に帰属する四半期純利益	91	213
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,809	3,206

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)
四半期純利益	2,901	3,420
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	77	428
為替換算調整勘定	△409	△841
退職給付に係る調整額	△80	△12
持分法適用会社に対する持分相当額	△15	4
その他の包括利益合計	△427	△420
四半期包括利益	2,473	2,999
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,503	2,972
非支配株主に係る四半期包括利益	△29	26

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成28年5月13日開催の取締役会決議に基づき、自己株式1,500,000株の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が289百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が550百万円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	国内塗料	海外塗料	照明機器	蛍光色材	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	41,998	5,597	6,838	1,014	55,449	1,684	57,133	—	57,133
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	595	2	14	39	651	1,898	2,549	△2,549	—
計	42,593	5,600	6,853	1,053	56,100	3,582	59,683	△2,549	57,133
セグメント利益	2,888	456	478	110	3,933	166	4,099	177	4,277

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、塗装工事業、物流事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額177百万円には、セグメント間取引消去188百万円、のれんの償却額△10百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第3四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	国内塗料	海外塗料	照明機器	蛍光色材	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	40,326	5,212	6,501	1,038	53,079	1,334	54,413	—	54,413
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	702	9	0	45	759	1,835	2,594	△2,594	—
計	41,028	5,222	6,502	1,084	53,838	3,169	57,008	△2,594	54,413
セグメント利益	2,983	900	607	99	4,591	100	4,692	133	4,825

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、塗装工事業、物流事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額133百万円には、セグメント間取引消去137百万円、のれんの償却額△3百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第3四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。